

# リフレッシュ滋賀

第13号

連合滋賀・高退協会報

発行責任者: 吉村眞明

編集責任者: 嶋澤順三

大津市松本2-10-6  
電話: 077-523-0500

## 年頭にあたって

連合滋賀  
高退協会長

吉村眞明

明けましておめでとうございます。  
希望を持って迎えた新世紀の幕開けも、驚天動地のテロや、数々の事件、事故が発生し、全くひどい一年で終わりました。

「水と安全はタダ」の日本神話は崩れ、安心・安全・安定は、遥か彼方に消え去ろうとしています。高齢者をとりまく環境も益々厳しさを加えています。

社会保険制度は弱い者泣かせ、高齢者いじめに改悪され、少額貯蓄費課税制度も廃止が打出され、高齢者の、ささやかな夢すら奪い取ろうとしています。

庶民感覚の欠如した政治に激しい怒りを覚えます。

公平・公正な社会の実現のため、不条理に対して敢然と立ち向かった現役時代の気概をとり戻し、退職者連合の運動に参加しようではありませんか。

今年を高齢者の「戦の年」にするために、健康に留意され一層のご協力を切にお願い申し上げます。

長寿の秘訣は、しなやかに、したたかに、つややかに、生きることだそうです。ご健康とご多幸を祈念いたします。



石馬寺・本堂

## 頌春

## 近ブロハイキング

毎年秋に開催される近ブロハイキングが一月一三日に、神戸布引の滝にて開催され、参加者は四九〇人にも及び、滋賀県からも六名が参加しました。

新神戸駅に集合した参加者は、いくつかのグループに分かれ、コース沿いの樹木の説明を森林インストラクターから受けながら、ハーブ園・風の丘芝生広場までのハイキングを楽しみました。芝生広場でゆつくり昼食をとり、自由時間には秋の深まった時期にもかかわらず咲き誇る色とりどりのハーブを鑑賞しながら、園内を散策しました。



午後からは集会が持たれ、主催者及び地元連合兵庫、神戸市代表等の挨拶があり、つづいてNPO自然と緑の理事長石原忠一氏より「自然と緑を大切に・地球の温暖化防止を」と題して講演がありました。

続いて全員による森林に関する問題に対してYes・Noで答えるクイズがあり我々も参加しました。

帰路もインストラクターの案内で下山し、布引の秋を満喫しました。

読者の皆さんのご参考にクイズの問題を幾つか載せておきます。あててみて下さい。

さい。Yesは○ Noは×

① 布引の滝は日光の華厳の滝と養老の滝とともに3大神滝と呼ばれる。

② クスノキはいい匂いがします。この木から胃腸薬をつくります。

③ マンサクの木は早春に枝をいっぱい黄色の花をつけることから豊年満作を意味して付けられた名前です。

④ 哺乳類の鯨は背中から塩水を吹き上げますが、植物のウルシ科のヌルデは塩まみれの果実をつけます。

⑤ テイカカズラという名前は百人一首の選者で知られる藤原定家の死後、定家の墓に巻きついていていたのがこのつる性の植物の名の由来です。

⑥ スギ、ヒノキにはその木の年齢を示す年輪があります。しかし熱帯の樹木にははつきりした年輪はありません。

⑦ 小鳥の名前で「ウソ」という名前の野鳥がいます。

⑧ 雀より小さくウグイス色の「メジロ」という野鳥がいます。同じような大きさで目の赤い「メアカ」という名前の鳥がいます。

⑨ 源氏物語の作者の紫式部は、小さな紫色の実のなるムラサキシキブの美しさを感じて自分の名前にしました。

⑩ 百人一首に「ありま山猪名の笹原風ふけばいでそよ人を忘れやはする」と有馬山が出てくるこの一首の作者の大式三位は藤原賢子のこと、母は源氏物語の紫式部である。

(正解は四面に掲載)

# 『滋賀県きき酒王決定戦』のぞ記

東レOB 吉田 剛

去る九月一五日敬老の日、ピアザ淡海で開催された『滋賀県きき酒王決定戦』を昨年につづいて覗いてみた。

『きき酒』は「キキさけ」とは言わず「キキシゅ」と言うとのこと。

昨年度は、面白半分・旨酒期待四分・イベント入賞期待一分だったのが、今年は少し慣れ入賞期待三分くらいであった。

参加している人は三〇才から四〇才台の男性が圧倒的で、私のような高齢者は数えるほどで勿論ご婦人の姿は見えず、昨年同様若い女性が多かったが、子供連れの人はいたものの昨年ビックリさせられた幼児を抱いた人はいなかった。

このイベントは全国大会の滋賀県予選を兼ね『全国きき酒選手権大会・滋賀県大会』とされ、滋賀県酒造組合連合会が二〇年位前から毎年開催しているもので、



今年は第二一回大会となっていた。参加者は一般公募での五〇名と、県下七地区の酒造組合毎に開催された予選会選抜の一四名、合計六四名で舌（喉）を競い、優勝者と準優勝者

は全国大会に出場できることになっている。

イベント参加料は後の地酒パーティを含めて三〇〇〇円で、昨年同様会場の雰囲気はかなり熱気に溢れていた。

競技は予選と決勝とがあり、まず予選で公募者五〇名の中から六名を選抜し、決勝はブロック予選選抜一四名を加えた二〇名で、最終順位を争うことになっていて、勿論地酒が賞品として用意され、優勝者にはナント地酒四合瓶が五〇本、準優勝でも同じく二五本となっていて、三位以下二〇位までの成績に応じて地酒がプレゼントされ、飛び賞やブービー賞のほか、リベンジ賞も用意されていた。

競技方法と採点方法は予選・決勝とも同じで、まず第一のコーナーにA・Fの記号をつけた種類の異なる地酒が並べられ、自由にキキ酒して『旨いと思った順』に回答用紙に一〜六の数字で順位を記入、つぎの第二コーナーにはイ〜への記号をつけた第一コーナーと同じ地酒が順序を変えて並べられていて、同じく自由にキキ酒し『旨いと思った順』に回答用紙に一〜六を記入する方法となっている。

競技には或る種の制限があり、キキ酒できる時間は第一コーナー第二コーナーとも五分間、また第二コーナーに移ってからは第一コーナーに戻ってはいけないことになっている。

もしそれぞれの人が、お酒の味わいを利き分ける能力（キキ酒能力）を持って



いるとすれば、たとえば、味わう順が違っていたとしても、同じ酒には同じ『旨さ』の順位を感じるはず！というのである。

採点は、第一コーナーと第二コーナーの数字の差の二乗の値を減点で合計することになっていて、例えば「Aとへ」が同じお酒のとき、「Aとへ」を一つとしてあれば「マイナス一〇」で減点〇、逆に「A」を「一番旨い」として「へ」を「一番不味い」六とすると、差は五で二乗値の減点は二五点ということになる。従って最小値は〇点となり、減点数の少ない人から順位がつけられることになっている。まず予選では減点〇の人三名と二点の人六名がいて、決勝戦進出者六名を特定できなかったのかこれら九名の人が決勝に出ることになったが、決勝戦では減点二点の人三名がトップとなり、順位決定プレーオフが行われ、優勝以下の順位が確定した。

優勝は田中さんという四一才の男性で、地酒四合瓶五〇本をゲットし笑顔一杯で大喜び、準優勝は成光さんという三〇才の男性で、3位はなんと「藤居かおる」さんという？才の女性であった。その他四位の人が二名、六位の人が八名もいた。

因みに、私は減点8点で一四位三名の中に入り、リベンジ賞四合瓶2本を頂き

来年のご招待(?)組となった。昨年もビックリしたが、今年も減点〇とか二点とかの人がいることで、これは最初に感じたお酒の味を忘れないで次のお酒を味わったことになるが、それらの人達の『舌・喉』はどうなっているのか今もって不思議でならない。

昨年の大会の地酒パーティで、全国大会に出場された方のお話を聞く機会があったが、その方によると『キキ酒』のコツも、或る種の「慣れ」のようで、その方は日々酒を嗜む際には事前にその酒の種類を調べておき、「これは生酒」「これは吟醸酒」「これは純米酒」など『舌』で覚えることを繰り返すとのこと。それでは余りにも酒を嗜む雰囲気がないのではないかと尋ねると、「そりゃそうですヨ、後は楽しんでますヨ」と笑っておられたので、その切り替えは？と重ねて尋ねたら「慣れたら自然にできますヨ」とのこと。飲んだら「雲助酒」の自分にとっては難しいことのように思われた。

後の懇親パーティでは、県内五七の蔵元から自慢の地酒が提供され、全員「この時」とばかりに「これはイケル」とか「これは抜群ダ」など、思い思いにおおいに滋賀の地酒を楽しんでいた。

ご存じの向きも多いと思うが、酒にはいろんな効能があるようで、配布されたパンフによれば、日本酒に多く含まれる「アデノシン（核酸の一種）」に血管を拡張させる働きがあり、ストレス解消に極めて有効であるとか、日本酒に発ガン予防効果がある、日本酒の消費量が多い東日本地域は肝硬変や肝ガンの死亡率が低い、さらには三七度の温めの風呂にコップ二〜三杯の日本酒をいれた酒風呂で、身体をシッカリ温めれば血圧の安定に役

立つことが実験で確認された、など『酒好き』には堪えられない記事ばかり掲載されていた。ただし「適量飲酒」が大前提とシツカリ釘が刺され、「適量」とは一日に日本酒一〜二合位とのこと。

高齢・熟年の皆さん方の中には、日頃からお酒を嗜んでおられる向きも多いと思うが、滋賀の酒造組合が催されているいろんなイベントに参加され、良い米と良い水で醸られた滋賀の地酒を楽しみ、又今までは異なつた人達との出会いを楽しんでみられてはいかがだろうか。とくにこの『キキ酒王』決定戦などには是非参加して頂いて、若者には負けない熟年の円熟の『舌・喉』を示して頂き、そしてお酒の良さを楽しんで頂ける絶好の機会ではないかと思つている。

滋賀の酒造組合では毎年『キキ酒』の会のほか、三回か四回ほどのイベントを開催されているようである。因みに今年（平成一三年）の春は長浜港から海津大崎への「湖上から桜を楽しむ会」、秋には琵琶湖汽船ビアンカでの「津軽三味線の夕べ」などが開催されているようである。

詳しくは滋賀県酒造組合連合会  
☎〇七七―五二二―三〇七〇  
に照会されたら、懇切に説明して下さいることになっている。



## ウィーンの建築芸術家 フンダートヴァッサーとその作品



フンダートヴァッサーという名はご存知の方も居られると思う。旅行案内書にもその作品が紹介され、また全日空の海外路線機内誌「翼の王国」の八月号にその作品が紹介されている。日本では百水（フンダートヴァッサー＝Hundertwasser）の名で紹介されている。

最近ドイツとオーストリアへ旅行する機会があり、機内で彼の作品の紹介記事を見つけて驚かされ興味を持った。大まかに紹介すると、その一つは一般の市営住宅のデザインであり、もう一つはウィーンの町の中に設置されているゴミ焼却施設（工場）である。

まず市営住宅の紹介をしよう。建物の

形状は曲線が多く、奇抜な形をなしており色彩は豊かで彩度の高い彩りをしている。また、建物のなかの床面は平坦でなくうねって歩いて歩きにくいくらいだ。階段もその各段が一樣でない。アパートの部屋には入れないので、どうなっているのか小生の知るところでないが、すぐ隣にあるみやげもの売場、カフェなどは上記の通り。また、トイレの手洗い、鏡、便器にいたるまでユニークな造りだ。一方建物外観はユニークなデザインであると同時に、外周の壁面や屋上に緑の木々を配置して潤いをもたせている。これらは彼の「人間が直立した時から過ちが始まった。大地とのふれあいを日々の生活に求めて」という思想に基づいている。

もう一つの焼却施設は、ウィーン市街

の北寄りのターミナル駅、フランチヨーゼフ駅に程近いスピットロウ焼却場でドナウ川のほとりにある。正しくウィーンの街の中心部に焼却施設が存在することになる。建物を見てもそれがゴミ焼却施設であることを知らなければ、工場の一つとして見過ごしてしまふ。この建物もカラフルでまたユニークなデザインだ。煙突にして



も思えないデザインだ。当然煙など出していない。焼却施設として十分な設備がなされ排ガスもクリーンになっているはずだ。街の真ん中で稼動するのだから当然といえば当然だろう。さらにこの施設で水を温めウィーンの二三万世帯にお湯を供給している。省エネとリサイクルだ。

ここで考えさせられることは、大都市ウィーンの真中にゴミ焼却施設を持つてゐることだ。焼却施設の設置で絶えずめ事の絶えないわが国と考え合わせてみて、ゴミ処理ひとつにしても確固たる思想のもとに、かつ都会の中に馴染ませて一体化している都市の姿に感心し、わが国も学ぶ必要があるのではないかと考えさせられた。

なお大阪湾の夢島に最近設置された大阪市のゴミ焼却施設も、フンダートヴァッサーのデザインによるものと聞いている。そのフンダートヴァッサーも残念なことに、一九九七年にこの世をさつてしまった。

（伊藤三郎）

二〇〇二年

## 滋賀県高齢者集会報告

二〇〇一年九月二〇日に守山市の「つがやま荘」において、加盟一二組織より九一名の参加のもと開催しました。開会にあたり、吉村会長より、『今回で六回目の集会を迎える。高齢者を取り巻く環境は厳しく、年金、医療について、給付の引き下げ、負担増には怒りをもって対抗していく必要がある。そのためには、「しなやかに、したたかに、つややかに生きること」を目標に元気に生きることが財産である』と挨拶がありました。



その後、日本退職者連合の西田八郎会長や連合前坂雅春事務局長、民主党二区総支部長田島一成氏などから挨拶をいただいた後、講演に移り、講師に関西電力出身で前参議院議員の足立良平氏を迎えて、「国会裏話」と題して講演を頂きました。

足立氏は、兵庫県出身で、政治家の佐々木良作氏との交友がきっかけで、労働組合への関わりを持つことになり、一九八九年より政治家として二年間の活動を経験され、激動期に、「自民党に代わる政治勢力の確立」を政治活動の原点に

活動を進めてこられました。議員生活の一二年を振り返り、国会の動きの中で、参議院選挙制度改革について、自民党内の制度改革への議論過程や動きについての話がなされ、続いて昨今の経済状況について触れられ、経済不況の元凶について、一九九一年一月頃がバブル経済の絶頂期で、それ以降は下降に転じ一九九七年に持ち返した頃、橋本政権時代に消費税アップや社会保障費引き上げなどが元凶にあげられているが、私は経済的に見るならば、一九九三年の宮沢総理時代に、不良資産に対して公的資金導入が必要だと判断したが、抵抗により実施しなかった。もしその当時に実施していれば、二、三兆円で済んだと思われるが、現在では一〇〇兆円を超える状況にあり、宮沢氏にも責任があると思うなどの話もありました。そして、細川連立政権誕生を始め、野党政権時代の自民党の動きや、国会の駆け引きの話などを交えて有意義な講演でありました。

## NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会 第三回総会を開催！



## 高退協カレンダー

二〇〇一年

八月二三日

近プロ高齢・退職者連絡会の第八回総会

九月一五日

全国高齢者集会

九月二二日

連合滋賀第五回囲碁将棋大会

九月二六日

滋賀県高齢者集会

一〇月一七日

日本高齢・退職者団体連合の総会

一一月一三日

秋の近プロハイキング

一一月二二日

連合滋賀の第7回定期大会

NTT労組退職者の会滋賀県支部協議会は、二〇〇一年十一月二日に守山市のつがやま荘において来賓九名と会員一三八名の参加を得て第三回総会を開催いたしました。

総会は、北村会長の挨拶ではじまり、来賓挨拶、議長選出、物故者に対する黙祷、続いて、二〇〇〇年度経過報告や会計報告、二〇〇一年度の活動方針、予算、役員改選などの議案が承認され、永年役員表彰を行い、最後に参加者の懇親会を開催いたしました。

## 【クイズ正解】

- ① × 三大神滝は華嚴の滝、那智の滝、布引の滝
- ② × 「樟脳」という防虫剤ができる
- ③ ○ 塩味のある白粉で覆われる
- ④ ○ 藤原定家の悲恋物語から生れた艶のある名前
- ⑤ ○ 熱帯には冬がないため年輪はない
- ⑥ ○ 雀大の冬鳥でウソという小鳥
- ⑦ × メグロは小笠原にいますが、メアカはいない
- ⑧ × 式部という名はまつりごとをつかさどる役人のこと。紫式部にちなんで紫の夷のなる植物につけた名
- ⑨ ○ 紫式部にも娘がいました

## 編集後記

二一世紀の最初の年はさんさん一年になってしまいました。

今年こそと思いますが一灯照萬万灯照国の気持ちで、一人ひとりが輝けば日本全体がよくなる気持ちで頑張ってくださいませ。

出来るだけ読みやすい内容との希望に沿うようつとめております。

会員みなさんの、ご意見・ご感想をいただけると幸いです。

また投稿をお待ちしています。原稿は左記までご送付下さい。

## 投稿歓迎！

会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿は左記までご送付ください。

〒520-0807 大津市松本2丁目10-16

連合福祉会館内  
連合滋賀・高齢退職者団体協議会 事務局